



ひ さい せい かつ く ふう
【被災生活の工夫】

み ぢ か も の さ む
身近な物で寒さをしのぐ

▶ ^{しんぶんし}新聞紙、^{カーテン}カーテン、^{だん}段ボールなどが^{つか}使える



Save the Children
JAPAN



arts
NPO法人プラス・アーツ

身近な物で寒さをしのぐ

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① 「雪だ」。だいちくんが避難所の外に出てみると、雪が降っていました。
- ② 扉を開けて人が出入りするたびに、冷たい風がピューピュー吹き込んできます。避難所の中では、みなとくん、しんたろうくん、みさきちゃんがとても寒そうです。
- ③ 寒さに凍えながら、みなとくんは「〇〇〇〇〇」

▶ セリフの例 (気持ち)

- 「さむーい」
 「寒くて、がまんできない」
 「ストーブがほしいな」

▶ 発問例

- ・寒くてたまらない時、どのようにして体を温めることができますか？
- ・身の周りの物を使って、寒さをしのぐ方法がありますか？

■ 教訓シートの説明



■ 解説

▶ 新聞紙、カーテン、段ボールなどが使える

- ・地震や津波で電気やガスが止まったら、エアコンやガスストーブは使えなくなります。
- ・暖房設備がない避難所もあります。冬の体育館はとても寒く、夜になるとさらに冷え込みます。
- ・着の身着のままであわてて避難し、コートやジャンパーを着ていない人もいます。
- ・寒さをしのぐために身近な物を活用しましょう。
- ・毛布や布団がなくても、新聞、段ボール、大きなビニール袋、パスタオルなどにくるまると温かくなります。
- ・アルミブランケット（シート）や暖がとれそうなものを非常持ち出し袋に入れておきましょう。

■ 東日本大震災の教訓

カーテン、暗幕、マット、体操服など、学校にある物や身近な物を活用して寒さを乗り切りました。足先にトイレットペーパーをぐるぐる巻きにしてビニール袋をかぶせたり、ジャージは伸びるので子ども用の物を着た大人もいました。